

S@lean volume 27\*  
Kanagawa Coastal Environmental Foundation



### 砂浜でキラキラ光るモノ

早朝の海岸。砂浜には朝日に照らされてキラキラと白く光るモノが散在しています。このほとんどはプラスチック系のごみ(以下プラごみ)。回収しても回収しても、一雨降れば、またこのキラキラな状態に。

財団が1年間に回収する海岸ごみの量は約2,000トン。財団が行った調査では、その内の約33%約660トンが人工ごみで、人工ごみの約60%約400トンはプラごみと推計され、海岸ごみにプラごみが占める割合は増加の傾向にあります。

増え続けるプラごみ。海岸での実態について紹介します。



### 約6割はプラごみ



左の図は、藤沢市境川の河口部で、10メートル四方の海岸にある人工ごみを全て集めたもの。カンとビンは合わせて全体の約30%に過ぎず、全体の約60%を占めるのがプラごみでした。

その内容は、食品トレー、植木鉢、洗剤の容器、お菓子などの包装、荷造り用のバンドなど、多種にわたりますが、半分以上がペットボトルです。有料化や廃止など関心が高まっているレジ袋やストローはごく少量でした。

これらはすべて、川を通じて陸域から流れ出たものです。海ごみの減量を考えるとき、陸域からプラスチックごみの流出をいかに抑えていくかが、キーとなることがわかります。

### 増えるプラごみ

右の表は、財団が回収する海岸ごみのうち、木くずや海藻等の自然系のごみを除外して、人工ごみだけの組成を25年前と直近で比較したものです。

これを見ると、金属系のごみが31.4%から16.8%、ガラス系のごみが15.7%から10.8%へと減少している一方で、プラごみは40.9%から57.1%へと約1.4倍に増えています。

最近の海洋プラスチックごみへの関心の高まりは、海岸ごみがプラスチック中心へと移り変ってきていることも関係していると考えられます。

調査年度	平成4～6年度		平成28～30年度	
	重量 (kg)	割合 (%)	重量 (kg)	割合 (%)
プラスチック	78.8	40.9	130.0	57.1
金属	60.6	31.4	38.3	16.8
ガラス	30.2	15.7	24.5	10.8
紙	16.2	8.4	16.0	7.0
繊維	4.1	2.1	16.6	7.3
厨芥類	2.8	1.5	2.4	1.1
合計	192.7	100.0	227.7	100.0

## マイクロ化するプラスチック



写真右は、一見とてもキレイな海岸ですが、幅5mの範囲をフルイを使って、細かなごみまで拾い集めてみると、写真左のように小さなプラスチック片を簡単に採取することができます。この5mm以下のモノがいわゆるマイクロプラスチック。海岸のプラスチックは波や日光的作用によって、どんどん小さく

なっていき、やがて拾えなくなります。今回、幅5mで約200個採取できました。これを単純に神奈川県150kmの海岸で換算すると、約600万個になります。そして、一番の問題は、この600万個のカケラは、小さくなくても存在がなくなることです。

## 外洋へ 海洋生物への影響

海岸で回収できなかったプラごみの一部は外洋へと流れ出てしまいます。2050年には魚よりプラごみの量が多くなるという予測も示されており、生態系を含めた海洋環境の悪化が懸念されています。2018年8月には鎌倉市由比ヶ浜にシロナガスクジラの赤ちゃん(写真左)が漂着し、その胃の中からプラスチック片(写真右)が発見されたことは大きな話題になりました。



## プラごみゼロ宣言



シロナガスクジラの胃の中からプラスチック片が発見されたことを受け、9月に神奈川県、10月に鎌倉市が「プラごみゼロ宣言」を発表しました。11月にはその両者が連携して、鎌倉市生涯学習センターホールで『『かながわプラごみゼロ宣言』in鎌倉』を開催しました。そこで美化財団職員も登壇し、「神奈川の海岸のごみの実態」と題し、海岸ごみの現状や陸域から川を通じてごみが流れていくメカニズムについて講演しました。

## まとめ 回収する仕組みと出さない取組み

増え続けるプラごみに対して、必要なのは出口と入口の両方の対策です。出口は海岸での回収。ここで拾えるうちに拾わないと、プラごみはマイクロ化したり、外洋へ流れ出したりし、海岸や海洋の環境を悪化させます。それを食い止めるためには、美化財団のような継続的に海岸のごみを回収する仕組みの強化が必要です。そして、ごみの通り道である川においても、継続的に回収できる仕組み作りが求められます。そして、入口はプラごみを出さないこと。ごみのポイ捨てや不法投棄を防ぐための啓発はもちろん重要ですが、それだけでなく、使い捨てプラスチックの排出抑制、効率的なリサイクルシステムを通じた循環利用の徹底や生分解性プラスチックへの切り替えなど、実効性のある戦略的な取組みを進めることが求められます。



## 海岸清掃事業 概要

平成30年度は、前年度から繰り越した大量のごみの撤去作業からスタート。7月上旬にはカツオノエボシが大量に漂着、下旬には東から西という通常とは真逆のコースを進んだ台風12号が襲来、8月には鎌倉市由比ヶ浜にシロナガスクジラの赤ちゃんが漂着し、その胃からプラスチック片が発見されたことも大きなニュースになりました。9月下旬には台風24号が襲来し、大量のごみの回収に11月までかかりました。しかし、その後は、年度末の3月までピタッとごみの漂着が収まり、一年間でならしてみれば、例年同様のごみの回収量になりました。



## 1年間の海岸状況

### 4月 前年度の繰り越しごみの処理



例年4月に襲来することが多い『春の嵐』が、平成30年は1ヶ月早い3月9日に訪れた影響で海岸には季節はずれの大量のごみが漂着しました。

しかし、3月は年度末で清掃費がほとんど残ってなく、十分な清掃ができなかったため、新年度の4月は、いきなりこの「前年度から繰り越した」大量の漂着ごみと対峙することになりました。

大型連休も控えていたため、このごみを撤去するのに、年度の初めから緊急清掃費の当初予算額全額と、市町によっては年間清掃費の1/4も使わざるを得ず、苦難の年度始まりになりました。

### 5月 バーベキュー (BBQ) シーズンの始まり

平成30年度も大型連休から一気に BBQごみが増え始め、週末のたびに大量の BBQ関連のごみが海岸に捨てられていく状況が秋まで続きました。

BBQごみの多くに食材などの生ごみが混入していたため、カラス等に突かれ、周囲に散乱し、さらに回収に手間がかかるケースがほとんどでした。



### 5月 ミズナギドリ大量漂着

5月下旬に、ミズナギドリの死骸が大量に漂着しました。

このミズナギドリとは、5月から6月にかけてオーストラリア南東にあるタスマニア周辺から北海道の根室沖に飛来する渡り鳥で、北上していく途中で悪天候などで命を落とした個体が毎年この時期に海岸に点々と打ちあがってきます。平成30年度は、約100羽の死骸を回収しました。



### 7月 カツオノエボシ大量漂着



海水浴シーズンに入った7月初め、相模湾沿岸各所にカツオノエボシが大量に漂着しました。

カツオノエボシは大きさ3~4センチほどのクラゲで、風船のような青い浮き袋が目になりますが、触手に強い毒を持ち、死んでいても危険なため、地元自治体から注意喚起が出されただけでなく、新聞やTVニュースにも取り上げられ、大きな話題になりました。

### 7月 台風12号襲来



7月28日に襲来した台風12号は、東から西へと通常とは真逆のコースを進み、相模湾沿岸を反時計回りに通過していったため、普段あまり台風の被害を受けないエリアの海岸に大きな爪痕を残しました。

湯河原町の吉浜では海の家12軒が全壊したのをはじめ、小田原市御幸の浜では海岸の一番奥にあったトイレにまで波が流れ込んだり、真鶴町琴ヶ浜では堤防を越えて波が打ち寄せ、海沿いのマリナーや民家に大きな被害が出ました。

### 8月 シロナガスクジラ漂着



8月5日、鎌倉市由比ガ浜に体長約10メートルのシロナガスクジラの赤ちゃんの死骸が漂着しました。

国内でシロナガスクジラが漂着するのは初めてのケースで、それだけで大きな話題になりましたが、その後の調査でクジラの胃からプラスチック片が一個見つかったことが、さらに多くの方の関心を引き、海洋プラスチック問題への取組みの新たな契機となりました。

### 9月 台風24号襲来



平成30年度において海岸に最も影響があった気象は9月30日に日本列島を縦断していった台風24号でした。神奈川県は台風の進路の東側に位置していたため、台風の影

響をより大きく受け、強い風雨と波浪に見舞われ、茅ヶ崎市以西の海岸では人工ごみ混じりの木くずや大型のガラクタなどが大量に漂着しました。

### 10月 花火大会後のごみ

夏から秋にかけて沿岸で開催される花火大会の翌日の海岸はごみだらけとなり、早朝から必死に片付けましたが、特にひどかったのが10月の「ふじさわ江の島花火大会」の翌日でした。花火大会開始直前に雨が降り始めたことにより、シート類をそのままにして帰る観客が続出。その惨状はTVニュースに取り上げられたほどでした。



(写真提供：上重泰秀氏)



(写真提供：上重泰秀氏)

10月・11月 台風24号のごみ処理続く



9月末に襲来した台風24号は莫大な量のごみを海岸に残していきました。年間の緊急清掃費だけでは足りず、神奈川県に緊急清掃費を増額措置していただき、清掃を実施しました。茅ヶ崎市や平塚市のエリアでは、約300トンのごみが漂着し

たため、全て回収し終わるのに11月末までかかりました。また、巨大な流木等、通常の清掃で処理するのが難しい処理困難物は、海岸管理者である神奈川県土木事務所のご協力を得て、片付けることができました。

12月～3月 安定のオフシーズン

冬場は雨が少なく、天気も安定するので、ごみの漂着は少なくなります。それでも、年末や3月頃には発達した低気圧が通過して、それなりの量のごみが漂着するのが例年のことでした。

しかし、平成30年度は、そういう状況がまったくなく、12月から3月までの長期間にわたって、ごみの漂着がほとんど見られない特異なオフシーズンになりました。

そのおかげで、平塚市虹ヶ浜や小田原市山王海岸などで長年清掃できずに海岸に残さざるを得なかったごみを平成27年9月以来4年ぶりに撤去することができ、従来の清掃目標である「1年に1回神奈川県の海岸を清掃の必要のない状態に戻す」ことを達成できました。



海藻の漂着量の減少



これまで、最高約13,000トン、平均して約4,000トンもの海藻を年間処理してきましたが、処理量は減少傾向で、平成30年度は691トンまで激減しました。三浦半島でもウニなどの食害により沿岸の海藻が著しく減少する『磯焼け』問題もクローズアップされており、海中の環境の変化を海岸でも感じます。

財団直営部隊における海岸ごみ清掃事業

7月から翌年の1月末までの131日間、4人組1班体制で財団直営部隊が海岸清掃に取り組みました。直営部隊は、ごみ量が多い場所や優先順位の高い海岸の清掃などを実施し、約140トンのごみを回収することができました。



## 美化啓発事業 概要

海岸美化を一層推進するための啓発事業を展開しました。春と秋には、県下の海岸の一斉クリーンアップを開催しました。また、夏休み期間中に「おはようビーチクリーン」を開催し、子供たちを中心としたビーチクリーンアップを実施しました。さらに学校の総合学習の時間を活用した出前授業(学校キャラバン)や企業研修の受入れも積極的に行うとともに、ショッピングモールで啓発イベントを実施したり、河川上流域の団体と連携して環境教室を開講したりと、さまざまな機会を活用してより多くの方々に海岸美化を呼びかけました。



## 春と秋の県下一斉ビーチクリーンアップ実施結果

### 春 ビーチクリーンアップかながわ 2018

春の県下一斉ビーチクリーンアップ「ビーチクリーンアップかながわ」を各市町で開催されるごみゼロクリーンキャンペーンに合わせて、ボランティア団体、企業、地域組織等、多くの方のご協力を得て、実施しました。

#### ビーチクリーンアップかながわ 2018 結果概要

実施期間	平成30年5月6日～平成30年6月17日	
開催場所	神奈川県内40会場	
参加人数	12,832名	
ごみ量	可燃	18,394 kg
	不燃	7,477 kg
	合計	25,871 kg
主催	公益財団法人かながわ海岸美化財団	
共催	横須賀市・平塚市・鎌倉市・藤沢市・小田原市 茅ヶ崎市・逗子市・三浦市・葉山町・大磯町 二宮町・真鶴町・湯河原町	
後援	神奈川県	
協力	各ボランティア団体	



### 秋 国際海岸クリーンアップ 2018

一般社団法人 JEANを中心に実施されるごみ調査を兼ねた海岸清掃に合わせて、県下一斉ビーチクリーンアップ「国際海岸クリーンアップ」をボランティア団体、企業、地域組織等、多くの方のご協力を得て、実施しました。

#### 国際海岸クリーンアップ 2018 結果概要

実施期間	平成30年9月1日～平成30年10月7日	
開催場所	神奈川県内20会場	
参加人数	1,929名	
ごみ量	可燃	2,192 kg
	不燃	1,767 kg
	合計	3,959 kg
主催	公益財団法人かながわ海岸美化財団	
共催	一般社団法人 JEAN	
後援	神奈川県・横須賀市・平塚市・鎌倉市・藤沢市 小田原市・茅ヶ崎市・逗子市・三浦市・葉山町 大磯町・二宮町・真鶴町・湯河原町	
協力	各ボランティア団体	



## 環境学習の推進

内 容	件 数	人 数
学校キャラバン	51件	2,902名
企業等の環境貢献活動等の受入れ	14件	1,305名
中学生等の職業体験の受入れ	5件	20名
大学生のインターンシップの受入れ	1件	3名

夏休み期間に「おはようビーチクリーン」を開催し、子どもたちの環境学習の受け皿となる取組みを実施しました。また、学校の総合学習の時間を活用した出前授業(学校キャラバン)や企業の環境貢献活動等の受入れも積極的に行うほかにも、中学生の職業体験や大学生のインターンシップを受け入れ、財団の業務や海岸美化への理解を深めてもらいました。

### おはようビーチクリーン



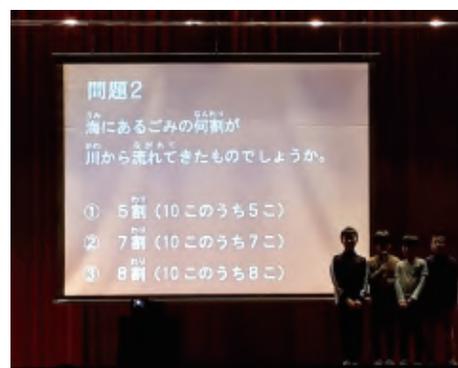
2016年から施行された国民の祝日「山の日」の8月11日に、茅ヶ崎市汐見台海岸で、地元の子もたちを中心に自治会の方々や企業のご協力をいただき、「おはようビーチクリーン」を開

催し、88名の参加者で160kgのごみを回収しました。ビーチクリーンアップの後は、きれいになった海岸の前に環境クイズを楽しみました。

### 学校キャラバン [小田原市立三の丸小学校の取組み]

10月25日、小田原市立三の丸小学校4年3組へ学校キャラバンに行ってきました。

普段から清掃活動をしているため、授業は活気にあふれたものになりました。後日、クラスとして全校生徒の前で、学校キャラバンを演技で再現したり、環境問題をクイズ形式で出題したりするなど工夫をこらした発表を行いました。



### 企業等の環境貢献活動等の受入れ [リーバイ・ストラウス ジャパン株式会社]



5月25日、鎌倉市由比ガ浜でリーバイ・ストラウス ジャパン株式会社の環境貢献活動を受け入れました。

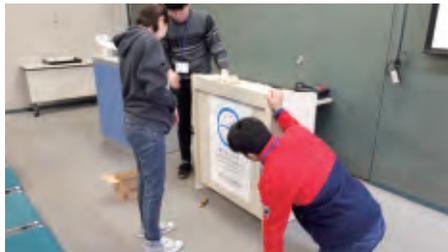
これは世界中のリーバイスのスタッフとそのファミリーが同時期に社会貢献活動を行う「コミュニティデイ」の一環で、日本では、神奈川県で2008年から取り組んでいて、当日は環境学習と海岸清掃をセットで行いました。

中学生の職業体験の受入れ [藤沢市立大庭中学校]

10月30日、藤沢市立大庭中学校2年生3名の職業体験を受け入れました。3名は財団職員に同行し、鎌倉市七里ヶ浜で清掃作業などの実践的な仕事を体験し、後日、この体験をまとめて、保護者や関係者の前で発表しました。



大学生のインターンシップの受入れ [桜美林大学]



2月28日～3月5日の5日間、桜美林大学からインターンシップ生3名を受け入れました。

3名は、コアイベントの「交流会」(p12参照)の準備から当日の受付業務だけでなく、実際に海岸での清掃作業も体験しました。

研究機関との連携 [神奈川県環境科学センター]

8月9日、神奈川県環境科学センターで施設公開に合わせ、小学生向けのワークショップを実施しました。施設内ではマイクロプラスチック採取体験も行われていたので、それに関連して、海岸のプラスチックごみの現状について講義した後、海岸に落ちているビーチグラスや貝殻を使ったオリジナルの写真立て作りのワークショップを行いました。



河川上流域団体との連携 [相模原市立環境情報センター]



8月2日、相模原市立環境情報センターで夏休み環境学校を実施しました。

会場は相模川と境川の上流域に位置し、そうした場所でも、雨が降れば、足元のごみが川を通じて海までやってきてしまう問題を話し、普段、あまり海に親しみのない参加者に、陸と海とは水の流れてつながっていることを理解していただきました。講義の後は、海に落ちているモノで写真立て作りを行い、海への親しみを深めてもらいました。

ユニクロ店頭ポスターに登場

12月～2月にかけて、湘南エリアのユニクロ5店舗の店頭ポスターに財団職員がモデルとして登場しました。これはユニクロが地域ごとに活躍している人をヒートテックのモデルとして採用するキャンペーンの一環に協力したもので、ポスターの横には財団の機関誌とポストカードも設置していただきました。



## 海岸美化キャンペーンの実施

### 海岸ごみって何だろう？パネル展の実施



展示期間	展示場所	協力団体
平成 30 年 4 月 16 ~ 20 日	小田原市役所	小田原市
平成 31 年 1 月 7 ~ 2 月 28 日	神奈川県小田原合同庁舎	神奈川県
平成 31 年 2 月 1 日 ~ 18 日	藤沢市役所	藤沢市

神奈川県、小田原市、藤沢市の庁舎で「海岸ごみって何だろう？」パネル展を実施しました。

### 街頭美化キャンペーンの実施

市町名	場所	実施日
茅ヶ崎市	サザンビーチちがさき	平成 30 年 7 月 15 日
藤沢市	小田急 片瀬江ノ島駅前	平成 30 年 7 月 16 日
平塚市	湘南ベルマーレひらつかビーチパーク by shonanzoen	平成 30 年 7 月 16 日
大磯町	大磯海水浴場・漁港・駐車場	平成 30 年 7 月 16 日

海の日を中心に「湘南海岸をきれいにする会」と連携し、関係機関とともに、駅前等で啓発資料を配布してごみの持ち帰りを呼びかけました。



### 海岸美化ボランティアツアーの実施

実施日	団体名	人数
平成 30 年 9 月 20 日	栃木市立栃木第四小学校	3 人
平成 30 年 10 月 21 日	座間市立青少年センター	20 人



旅行会社が企画する観光ツアーと連携したビーチクリーンアップを実施しました。9月20日、栃木県から修学旅行で訪れた小学生3名に鎌倉市坂ノ下海岸で清掃作業を体験してもらいました。

### 観光協会との連携

公益社団法人藤沢市観光協会と連携し、主要駅4ヶ所でリーフレットを配布し海岸美化を呼びかけました。

実施日	場所
平成 30 年 6 月 25 日	JR 横浜駅
平成 30 年 6 月 25 日	小田急 成城学園前駅
平成 30 年 7 月 3 日	JR 浦和駅
平成 30 年 7 月 3 日	JR 上尾駅



(写真提供：公益社団法人藤沢市観光協会)

### イベント出展



実施日	イベント名	場所
平成 30 年 5 月 26 ~ 27 日	グリーンルームフェスティバル	横浜赤レンガ倉庫
平成 30 年 8 月 10 日	海のつながり展	テラスモール湘南

野外音楽フェスやショッピングモールが主催するイベントで写真立て作りのワークショップを実施しました。

### 美化啓発ポスターの掲出



掲出場所	掲出協力企業
西部駐車場・中部駐車場・片瀬海岸地下駐車場	株式会社湘南なぎさパーク
逗子海岸ロードオアシス・下浦海岸駐車場	神奈川県道路公社
ポートハウスてるがさき・海岸出入口護岸	大磯町

海岸沿いの駐車場等の施設に、管理団体の協力を得て、美化啓発ポスターを掲出しました。

### 美化団体支援事業 概要

海岸清掃ボランティアに対し、ゴミ袋の提供・清掃用具の貸出・ごみの回収等の支援を実施しました。ボランティア数は、順調に増加しており、前年度と同様、16万人を超えました。

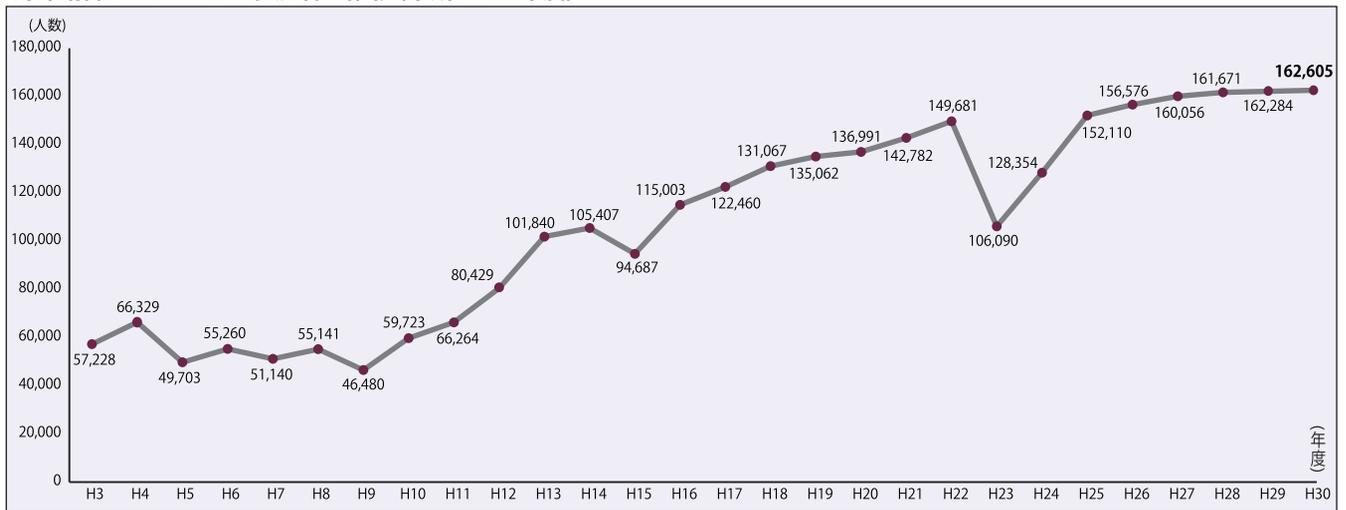
また、海岸や河川等において美化活動を実施しているボランティア団体や企業・学校・関係行政機関を対象に、「海岸美化団体等交流会」を開催し、課題の共有や情報交換等を図りました。



(写真提供：レモンガス株式会社)

### 海岸清掃ボランティア参加者数

海岸清掃ボランティア参加者の推移(平成3～30年度)



海岸清掃ボランティア参加者の内訳(平成30年度と平成29年度)

年度	平成30年度			平成29年度		
	件数	参加者数	割合(%)	件数	参加者数	割合(%)
地域団体	100	22,358	13.8	85	22,355	13.8
環境団体	159	21,987	13.5	150	22,224	13.7
学校・教育	103	12,135	7.5	109	13,118	8.1
行政	19	14,878	9.2	21	16,083	9.9
企業等	244	21,565	13.3	250	20,160	12.4
マリン	274	56,780	34.9	258	55,726	34.3
その他	371	12,902	7.9	349	12,618	7.8
合計	1,270	162,605	100.0	1,222	162,284	100.0

定期清掃と随時清掃(平成30年度と平成29年度)

年度	平成30年度		平成29年度	
	件数	人数	件数	人数
定期清掃	126	50,256	127	50,192
随時清掃	1,144	112,349	1,095	112,092
合計	1,270	162,605	1,222	162,284

## 海岸美化団体等交流会を開催



3月2日、神奈川県藤沢土木事務所汐見台庁舎にて、平成30年度海岸美化団体等交流会を開催し、過去最高となる114団体・個人、195名の参加がありました。

交流会は、神奈川県環境科学センターの難波あゆみさんの「県民参加調査による相模湾漂着マイクロプラスチックの実態」と題した講演からスタートし、続いて、長年海岸美化活動に取り組まれている団体と学校に感謝状と記念品として各団体が活動

している海岸の砂で作ったオリジナルの砂時計を贈呈しました。次に、リコージャパン株式会社の高橋さんから企業の環境活動について、そして、逗子市役所職員の楠元さん、葉山町職員の伊藤さん、NPO法人 iPledge 濱中さんから SMART BEACH PROJECTについて発表していただきました。最後の懇親会は、新たな出会いや繋がりが生まれる場となりました。

## ボランティア団体等の表彰について

### 公益財団法人かながわ海岸美化財団 感謝状

長年にわたって海岸美化に取り組んでいる団体・企業・学校とごみ袋等をご協賛いただいた企業等に感謝状を贈呈しました。

#### 贈呈先

区分	団体名
ボランティア活動	FUJISAWA BEACH CLEANING PROJECT
	中高生ボランティア団体 NEXUS
	パークサーファーズ
	横浜ゴム株式会社
	三菱電機株式会社 鎌倉製作所
	茅ヶ崎市立松浪小学校
	東京都立国分寺高等学校
	風の谷幼稚園
協賛	日本サニパック株式会社
	日本たばこ産業株式会社 神奈川支社
	公益財団法人小田急財団
	湘南藤沢市民マラソン実行委員会
	ミラクルス
	テラサイクルジャパン合同会社
	株式会社新江ノ島水族館
	リコージャパン株式会社
株式会社ガイア	
マルイグループ福祉会	
中日本エクストール横浜株式会社 茅ヶ崎営業所	
株式会社湘南なぎさパーク	
株式会社じゃこめてい出版	
プロジェクトC	

### 県の各表彰

県からの依頼を受けて、財団が推薦させていただき、多くのボランティア団体が各表彰を受賞されました。

#### 表彰名と受賞団体

<b>神奈川県美化運動推進功労者表彰</b>
江ノ島湾護美さあくる
<b>神奈川県横須賀三浦地域県政総合センター所長表彰</b>
城ヶ島沖の海鳥観察グループ
<b>神奈川県湘南地域県政総合センター所長表彰</b>
こまたん
日本労働組合総連合会 神奈川県連合会 西湘地域連合

### 感謝状記念品 砂時計について



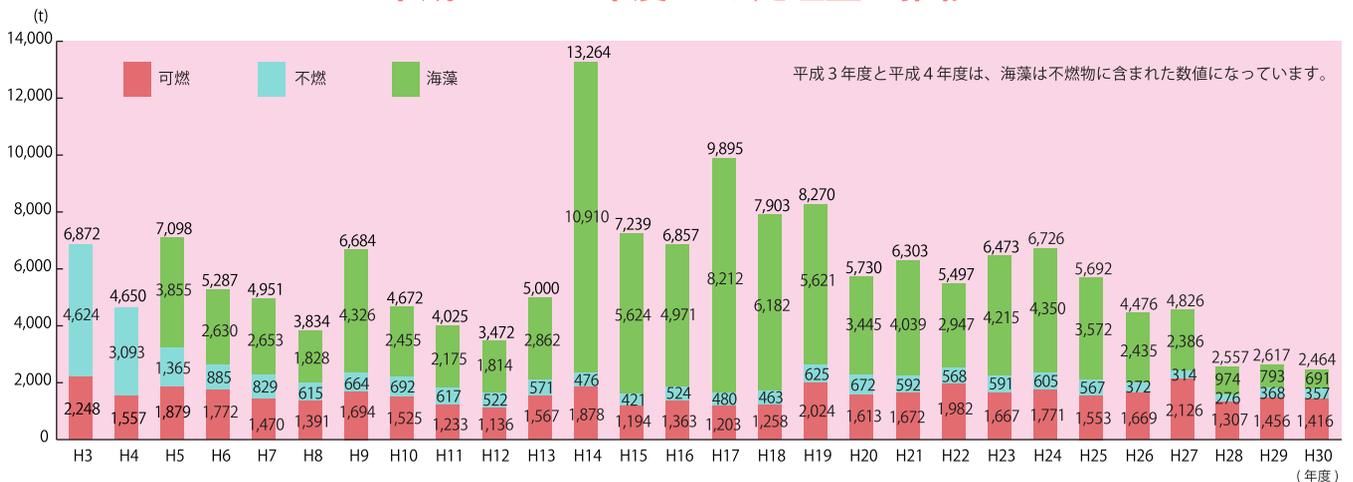
ボランティア活動の感謝状では、各団体が活動している海岸の砂で作ったオリジナルの砂時計を記念品として贈呈しています。

## 平成 30 年度 海岸清掃ごみ等処理量集計表

(単位：kg)

区分	通常清掃			緊急清掃			合計		
	可燃	不燃	海藻	可燃	不燃	海藻	可燃	不燃	海藻
横須賀市	46,320	36,530	2,912	5,160	0	0	51,480	36,530	2,912
三浦市	27,048	30,162	580	0	2,895	0	27,048	33,057	580
葉山町	46,850	5,120	8,200	2,200	190	0	49,050	5,310	8,200
逗子市	56,160	5,440	12,400	770	810	0	56,930	6,250	12,400
鎌倉市	110,540	14,870	609,400	20,950	5,730	0	131,490	20,600	609,400
藤沢市	431,760	89,310	54,400	4,200	1,630	0	435,960	90,940	54,400
茅ヶ崎市	136,160	101,125	0	82,700	6,520	0	218,860	107,645	0
平塚市	148,790	14,555	0	113,930	14,765	0	262,720	29,320	0
大磯町	69,790	2,920	0	9,505	5,365	0	79,295	8,285	0
二宮町	3,965	925	40	12,935	1,990	0	16,900	2,915	40
小田原市	37,455	4,025	0	32,405	8,765	0	69,860	12,790	0
真鶴町	11,050	500	3,000	2,580	1,485	0	13,630	1,985	3,000
湯河原町	1,830	1,317	0	530	465	0	2,360	1,782	0
合計	1,127,718	306,799	690,932	287,865	50,610	0	1,415,583	357,409	690,932

## 平成 3 ~ 30 年度 ごみ処理量の推移



# パートナーシップ

## パートナーシップについて

平成30年度も、会員として、海岸美化募金として、物品協賛や寄付金としてなど、さまざまな形で多くの個人、企業・団体様とパートナーシップを結び、海岸清掃ボランティアへのごみ袋の提供や美化啓発イベントなどを実施することができました。  
ありがとうございました。

財団では、随時、海岸美化募金や会員、企業・団体様からのご協賛・ご寄付等を募集しております。皆様からのお声かけをお待ちしております。

会員会費や当財団への寄付金は、公益財団法人への寄付として税制優遇措置を受けることができます。



株式会社コーエン 菅松さん(写真左)と当財団松浦代表理事(写真右)

## 会員の状況

会員別一覧 (平成31年3月31日現在)

区分		会員数	口数
法人・団体	10口以上(特別法人・団体会員)	22	220
	1~9口	54	62
個人		159	366

新規会員 (平成31年3月31日現在/順不同)

区分	法人・団体名
特別法人・団体	三美興産株式会社
	有限会社 がんこ本舗
	株式会社リビエラリゾート
	株式会社コーエン
法人・団体	株式会社オグラボウル
	医療法人社団ビクトリア会 小野歯科医院
	虹の雫 SACHI ∞ YOGA Time&Space
	東海大学
個人	49人

## 海岸美化募金の募集

『seaside days』と題し、財団が清掃している13市町の景色を月替わりで楽しめるカレンダーを作成し、会員特典とするほか、海岸美化募金にご寄付いただいた方にもお配りし、443,000円の募金をいただきました。



## 協賛の状況

協賛一覧 (平成31年3月31日現在/順不同)

区分	法人・団体名
物品協賛	日本サニパック株式会社
	日本たばこ産業株式会社 神奈川支社
	湘南藤沢市民マラソン実行委員会
	株式会社ガイア
	公益財団法人小田急財団
	中日本エクストール横浜株式会社 茅ヶ崎営業所
寄付金(団体)	有限会社永塚製作所
	リーバイ・ストラウス ジャパン株式会社
	ミラクルズ
	株式会社クオカード
	テラサイクルジャパン
	株式会社新江ノ島水族館
	リコージャパン株式会社
	マルイグループ福祉会
	株式会社湘南なぎさパーク
	株式会社じゃこめてい出版
プロジェクトC	

## SDGsへの取組み

SDGsとは、2015年9月に国連サミットで採択された持続可能な世界を実現するための開発目標です。当財団へのご協賛やご入会は、SDGsの17の目標のうち、14(海の豊かさを守ろう)の取組みになります。



【特別法人・団体会員】

- 有限会社サニー
- 株式会社出羽商会
- 株式会社湘南なぎさパーク
- 株式会社美装
- 協和通商株式会社
- 横浜エフエム放送株式会社
- 湘南モールフィルテナント会
- 株式会社 神中運輸
- 日本たばこ産業株式会社 神奈川支社
- 小田急電鉄株式会社
- 京浜急行電鉄株式会社
- 株式会社フジカッター
- 株式会社ジェイコム湘南・神奈川
- リーバイ・ストラウス ジャパン株式会社
- 日本メトロニック株式会社
- 医療法人社団青海会 しんゆり青木整形外科
- 株式会社ガイア
- 株式会社アダストリア
- レモンガス株式会社
- 株式会社カナダ
- 三美興産株式会社
- 有限会社がんこ本舗
- 株式会社リビエラリゾート
- 株式会社コーエン
- スポーツクラブNAS株式会社
- 【法人・団体会員】
- 辻堂コミゼロクラブ
- 特定非営利活動法人日本渚の美術協会
- タイタン株式会社 横浜支店
- かながわ信用金庫ボランティアサークル「ふれあい」
- TSSA(ザ・サーフサーフィングアソシエーション)
- 西湘地域連合
- 公益社団法人茅ヶ崎青年会議所
- 神奈川県フライングディスク協会
- 一般社団法人神奈川県ビルメンテナンス協会 青年部会
- FUJISAWA BEACH CLEANING PROJECT
- 連合神奈川
- 湘南地域連合
- 公益社団法人平塚青年会議所
- 一般社団法人神奈川県バス協会
- 神奈川県農業協同組合中央会
- 公益財団法人神奈川県都市整備技術センター
- ミキモト労働組合
- 公益財団法人相模湾水産振興事業団
- 飯工工業株式会社
- 岩漁業協同組合
- 神奈川トヨタ自動車株式会社
- 茅ヶ崎地区相模川をきれいにする協議会
- 海岸清掃団体 湘南ウキブイ
- 一般財団法人漁港漁場漁村総合研究所
- 住友生命保険相互会社
- 株式会社さんこうどう
- 株式会社リコー
- 神奈川県内広域水道企業団
- 社会福祉法人伸こう福祉会
- 株式会社グリーンアップル
- 株式会社ストリームグラフ
- スプラッシュトイーズ鎌倉
- アビームコンサルティング株式会社
- JAMBO International Center
- 公益財団法人藤沢市みらい創造財団
- 有限会社椿建設
- 一般財団法人横須賀西部水産振興事業団
- 公益社団法人大磯町観光協会
- 建設廃棄物協同組合
- 一般社団法人横須賀市観光協会
- 公益社団法人藤沢市観光協会
- 株式会社ニューフレアテクノロジ
- 公益財団法人神奈川県公園協会
- 一般社団法人神奈川県建設業協会
- 一般社団法人茅ヶ崎市観光協会
- 一般社団法人平塚市観光協会
- 株式会社ヤチヨ
- 江ノ島電鉄株式会社
- 株式会社長生運送
- 株式会社オグラボウル
- 医療法人社団ビクトリア会 小野歯科医院
- 虹の雫 SACHI ∞ YOGA Time&Space
- 東海大学
- 中日本エクストール横浜株式会社 茅ヶ崎営業所
- (順不同)

みんなであみぎらいにしようね♪

【行政】

- 神奈川県
- 横須賀市
- 平塚市
- 鎌倉市
- 藤沢市
- 小田原市
- 茅ヶ崎市
- 逗子市
- 三浦市
- 葉山町
- 大磯町
- 二宮町
- 真鶴町
- 湯河原町

【企業・団体等】

- 株式会社旭広告社
- アルゾア本社株式会社
- 大塚製薬株式会社
- 小田急電鉄株式会社
- 株式会社神奈川新聞社
- キリンビール株式会社
- 京浜急行電鉄株式会社
- 相模鉄道株式会社
- サッポロビール株式会社
- JXTGエネルギー株式会社
- 株式会社商船三井
- スルガ銀行株式会社
- 株式会社そごう・西武
- 損害保険ジャパン日本興亜株式会社
- 宝酒造株式会社
- 東京海上日動火災保険株式会社
- 東京ガス株式会社
- 東京電力ホールディングス株式会社
- あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
- 三菱UFJニコス株式会社
- 日本たばこ産業株式会社
- 東日本電信電話株式会社 神奈川支店
- 株式会社美装
- AIG損害保険株式会社
- 日本コカ・コーラ株式会社
- 株式会社みずほ銀行
- 三井住友海上火災保険株式会社
- 株式会社横浜銀行
- 神奈川県農業協同組合中央会
- 生活協同組合ユーコープ
- 逗子仏教会
- 全国労働者共済生活協同組合連合会
- (順不同)

Solean volume 27\*

2019年6月発行  
 企画・発行  
 公益財団法人かながわ海岸美化財団  
 印刷  
 株式会社さんこうどう  
 〒253-0033  
 茅ヶ崎市汐見台1-7  
 Tel 0467-87-5379  
 Fax 0467-87-5340  
 E-Mail info@bikazaidan.or.jp  
 URL http://www.bikazaidan.or.jp/

supported by 【特別法人・団体会員】(順不同)

